

製品安全データシート



1. 製品及び会社情報

製品名 KE-1222-A

製造元

会社名

住所

連絡先

電話番号

ファックス番号

信越化学工業株式会社
〒379-0195 群馬県安中市磯部2-13-1
群馬事業所 品質保証部
027-385-2172
027-385-2753

供給元

会社名

住所

連絡先

電話番号

ファックス番号

緊急連絡先

信越化学工業株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1
シリコン事業本部 総括部
03-3246-5121
03-3246-5381
027-385-2172 (休日・夜間: 027-385-2111)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

RTVゴム
一般型取り用

使用上の制限

一般工業用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物
(シリコン混和物)

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
結晶性シリカ	非公開	非公開	非公開	70 - 75
コバルト化合物	非公開	非公開	非公開	0.1 - 0.5

化審法; 全成分登録済保証。

4. 応急措置

吸入した場合

該当せず。

皮膚に付着した場合

皮膚を石鹸と水で洗うこと。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。

目に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。 直ちに医師の手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧。 泡消火剤。 粉末消火剤。 二酸化炭素 (CO2)。

使ってはならない消火剤

知見なし。

火災時の特有の危険有害性

加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。

特有の消火方法

もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器 (SCBA) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

安全を確認してから、流出防止の措置をとる。

封じ込め及び浄化の方法・機材 全ての着火源を取り除く。

大量の漏出: 可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。バーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。

少量の漏出: 布等の吸収材で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。

元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	特になし。
局所排気・全体換気	適切な換気を行う。
注意事項	取扱い/保管は慎重に行うこと。
安全取扱い注意事項	ミストや蒸気を吸入しないこと。長時間の暴露を避けること。

保管

技術的対策	特になし。
適切な保管条件	容器を密閉しておくこと。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。
混触禁止物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
安全な容器包装材料	元の容器で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値）および管理濃度

日本産業衛生学会 成分	タイプ	数値	形状
コバルト化合物 (CAS 非公開)	TWA	0.05 mg/m ³	
結晶性シリカ (CAS 非公開)	最大許容濃度	0.03 mg/m ³	吸入性粉塵
ACGIH 成分	タイプ	数値	形状
結晶性シリカ (CAS 非公開)	TWA	0.025 mg/m ³	吸入性粒子

設備対策 洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	通常、呼吸用保護具は必要ない。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
目の保護具	側板付安全眼鏡（またはゴーグル）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	特別の保護具は必要ない。

適切な衛生対策 休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

外観

形状	パテ状
色	青色
臭い	無臭
pH	データなし
融点 / 凝固点	該当せず
沸点、初留点と沸騰範囲	該当せず
引火点	> 100 °C (> 212 °F) (密閉式)
自然発火温度 (発火点)	データなし
燃焼又は爆発範囲－下限	データなし
燃焼又は爆発範囲－上限	データなし
蒸気圧	微 (25°C)
蒸気密度	該当せず
蒸発速度	微 (酢酸ブチル=1.0)
比重 (相対密度)	1.74 (25 °C)
溶解性 (水)	不溶
n-オクタノール/水分配係数	該当せず
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	特になし。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害性分解生成物	加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。 一酸化炭素, 二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。 二酸化珪素。 ホルムアルデヒド。

11. 有害性情報

発がん性	下記原料は製品に練り込まれており、吸入性の粒子としては存在しておりません。従いまして、供給された形態及び通常の使用方法では、危険性はないと思われまます。 結晶性シリカ。 コバルト化合物。
------	---

ACGIH発がん性物質

コバルト化合物 (CAS 非公開)

A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)

結晶性シリカ (CAS 非公開)

A2 ヒトに発がん性の疑いあり。

IARC発がん性評価モノグラフ

コバルト化合物 (CAS 非公開)

2B ヒトに発がん性の可能性がある。

結晶性シリカ (CAS 非公開)

1 ヒトに発がん性である。

日本産業衛生学会 - 発がん性物質

コバルト化合物 (CAS 非公開)

2B ヒトに発がん性の可能性がある。

結晶性シリカ (CAS 非公開)

1 ヒトに発がん性である。

NTP発がん性物質レポート

結晶性シリカ (CAS 非公開)

12. 環境影響情報

生態毒性	知見なし。
------	-------

13. 廃棄上の注意

地域の廃棄規制	未硬化物: 焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。 硬化物: 埋没処理又は焼却処理。焼却の際は、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。
---------	---

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

国内規制

国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

第一類物質

該当せず

第二類物質

該当せず

第三類物質

該当せず

有機則

第一種有機溶剤

該当せず

第二種有機溶剤

該当せず

第三種有機溶剤

該当せず

通知対象物

コバルト及びその化合物

0.10 - 0.50 %

シリカ

70 - 75 %

表示対象物

コバルト及びその化合物

毒物及び劇物取締法**特定毒物**

該当せず

毒物

該当せず

劇物

該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律**第一種特定化学物質**

該当せず

第二種特定化学物質

該当せず

監視化学物質

該当せず

優先評価化学物質

該当せず

化学物質排出把握管理促進法**特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)**

該当せず

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

消防法

指定可燃物 (合成樹脂類 - その他のもの)

船舶安全法・危規則

該当せず

航空法・施行規則

該当せず

火薬類取締法

該当せず

高压ガス保安法

該当せず

海洋汚染防止法

該当せず

16. その他の情報**引用文献**

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7250 : 2010 化学物質等安全データシート (MSDS) - 内容及び項目の順序

JIS Z 7251 : 2010 GHSに基づく化学物質等の表示

この製品安全データシートは、化学物質等安全データシートの日本工業規格 (JIS Z 7250:2010) に沿って作成致しました。本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。また、推奨される産業衛生措置および安全な取扱い方法は、通常の取扱いにおいて適用した方が良いと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行ない、当該用途に使用する事の安全性をご確認の上ご使用ください。医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。

版番号

02

改訂日

2013/12/18



製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名) KE-1222-B

製造元

会社名

住所

連絡先

電話番号

ファックス番号

信越化学工業株式会社
〒379-0195 群馬県安中市磯部2-13-1
群馬事業所 品質保証部
027-385-2172
027-385-2753

供給元

会社名

住所

連絡先

電話番号

ファックス番号

緊急連絡先

信越化学工業株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1
シリコン事業本部 総括部
03-3246-5121
03-3246-5381
027-385-2172 (休日・夜間: 027-385-2111)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

RTVゴム
一般型取り用

使用上の制限

一般工業用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

その他の危険有害性情報

水、アルコール、酸、アルカリ、強酸化剤、触媒作用のある金属、金属化合物との接触により引火性の水素ガスを発生する可能性がある。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物
(シリコン混和物)

官報公示整理番号

成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
結晶性シリカ	非公開	非公開	非公開	70 - 75
チタン、アンチモン、ニッケル化合物	非公開	非公開	非公開	0.5 - 1

化審法; 全成分登録済保証。

4. 応急措置

吸入した場合

呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚を石鹸と水で洗うこと。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。

目に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。直ちに医師の手当てを受けること。

応急措置をする者の保護

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO2)。

使ってはならない消火剤

知見なし。

火災時の特有の危険有害性

加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。

特有の消火方法

もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器 (SCBA) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

安全を確認してから、流出防止の措置をとる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

全ての着火源を取り除く。

大量の漏出: 可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。

少量の漏出: 布等の吸収材で拭き取る。漏出物は、酸、アルカリ等に接触すると水素ガスを発生する可能性がある。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。

元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策 (局所排気、全体換気等)**

適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項

取扱い/保管は慎重に行うこと。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。本品は水、アルコール、酸、アルカリ、強酸化剤、触媒作用のある金属、金属化合物との接触により、水素ガスを発生する可能性がありますので取り扱いにご注意下さい。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

適切な衛生対策

休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。

保管**安全な保管条件**

容器を密閉しておくこと。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。容器は圧力が高くなっている場合があるので、開ける際は気を付けること。

安全な容器包装材料

元の容器で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置**許容濃度 (暴露限界値) および管理濃度**

作業環境評価基準 (昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号) 別表

成分

タイプ

数値

チタン、アンチモン、ニッケル化合物 (CAS 非公開)

管理濃度

0.1 mg/m³

日本産業衛生学会 - 許容濃度成分

タイプ

数値

形状

チタン、アンチモン、ニッケル化合物 (CAS 非公開)
結晶性シリカ (CAS 非公開)

TWA

0.1 mg/m³

最大許容濃度

0.03 mg/m³

吸入性粉塵

ACGIH

成分

タイプ

数値

形状

結晶性シリカ (CAS 非公開)

TWA

0.025 mg/m³

吸入性粒子

設備対策

洗眼設備を設置する。

保護具**呼吸器の保護具**

通常、呼吸用保護具は必要ない。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

目の保護具

側板付安全眼鏡 (またはゴーグル) を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質**外観****形状**

パテ状

色

濃肌色

臭い

無臭

pH

データなし

融点 / 凝固点

該当せず

沸点、初留点と沸騰範囲

該当せず

引火点

> 100 °C (> 212 °F) (密閉式)

自然発火温度 (発火点)

データなし

燃焼又は爆発範囲 - 下限

データなし

燃焼又は爆発範囲 - 上限

データなし

蒸気圧

微 (25°C)

蒸気密度

該当せず

蒸発速度

微 (酢酸ブチル=1.0)

比重 (相対密度)

1.74 (25 °C)

溶解性 (水)	不溶
n-オクタノール/水分係数	該当せず
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	水, アルコール, 酸, アルカリ, 強酸化剤, 触媒作用のある金属, 金属化合物と反応する。
化学的安定性	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	特になし。
混触危険物質	水, アルコール, 酸, アルカリ, 強酸化剤, 触媒作用のある金属, 金属化合物
危険有害性分解生成物	加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。 一酸化炭素, 二酸化炭素等の酸化炭素類, 不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。 二酸化珪素。 ホルムアルデヒド。

11. 有害性情報

成分	種	試験結果
チタン、アンチモン、ニッケル化合物 (CAS 非公開)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg

発がん性
下記原料は製品に練り込まれており、吸入性の粒子としては存在しておりません。従いまして、供給された形態及び通常の使用方法では、危険性はないと思われます。
結晶性シリカ。
チタン、アンチモン、ニッケル化合物。

ACGIH発がん性物質

チタン、アンチモン、ニッケル化合物 (CAS 非公開) A1 ヒトに発がん性であると確認済。
結晶性シリカ (CAS 非公開) A2 ヒトに発がん性の疑いあり。

IARC発がん性評価モノグラフ

チタン、アンチモン、ニッケル化合物 (CAS 非公開) 1 ヒトに発がん性である。
結晶性シリカ (CAS 非公開) 1 ヒトに発がん性である。

日本産業衛生学会 - 発がん性物質

結晶性シリカ (CAS 非公開) 1 ヒトに発がん性である。

NTP発がん性物質レポート

チタン、アンチモン、ニッケル化合物 (CAS 非公開) ヒトに発がん性があると知られている物質
結晶性シリカ (CAS 非公開) ヒトに発がん性があると知られている物質

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分	種	試験結果
チタン、アンチモン、ニッケル化合物 (CAS 非公開)		
水生		
魚類	LC0	ゴールドエンオルフエ (Leuciscus idus) 1000 mg/l

生態毒性 知見なし。

13. 廃棄上の注意

地域の廃棄規制

未硬化物：焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。
硬化物：埋没処理又は焼却処理。焼却の際は、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。
廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って処理すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送

本製品は、ばら積み輸送用ではありません。

国内規制

国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

- 第一類物質
該当せず
- 第二類物質
該当せず
- 第三類物質
該当せず

有機則

- 第一種有機溶剤
該当せず
- 第二種有機溶剤
該当せず
- 第三種有機溶剤
該当せず

通知対象物

- アンチモン及びその化合物 0.50 - 1.0 %
- ニッケル及びその化合物 0.50 - 1.0 %
- シリカ 70 - 75 %

表示対象物

- 該当せず

毒物及び劇物取締法

特定毒物

- 該当せず

毒物

- 該当せず

劇物

- 該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

- 該当せず

第二種特定化学物質

- 該当せず

監視化学物質

- 該当せず

優先評価化学物質

- 該当せず

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

- 該当せず

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

- 該当せず

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

- 該当せず

消防法

指定可燃物 (合成樹脂類 - その他のもの)

船舶安全法・危規則

該当せず

航空法・施行規則

該当せず

火薬類取締法

該当せず

高压ガス保安法

該当せず

海洋汚染防止法

該当せず

16. その他の情報

引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens
ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
JIS Z 7252:2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2012に沿って作成致しました。本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。また、推奨される産業衛生措置および安全な取扱い方法は、通常の取扱いにおいて適用した方がよいと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行ない、当該用途に使用する事の安全性をご確認の上ご使用ください。医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。

版番号

02

改訂日

2014/10/23